

平成28年度 編入学

合格者Q&A集



桜の聖母短期大学

編入学合格者Q&A

(国) 福島大学

人文社会学群 行政政策学類



キャリア教養学科 (喜多方高校出身)

Q. 編入を考えたのはいつからですか。またその理由を教えてください。

A. 桜の聖母短期大学を受験した時です。面接官の先生に編入学試験についての話を聞き、編入への意欲が湧き、チャレンジしてみようと思いました。

Q. 編入対策で努力したことを具体的に教えてください。

A. 毎日コツコツと、謙虚に、学習を続けることです。長文読解対策としては「やっておきたい英語長文 300」「やっておきたい英語長文 500」を春休みから始めました。小論文については、5月中旬くらいから社会系の新書を次々と読み、ノートにまとめるとともに、新聞を読んで知識をつけ、実際に小論文を書く練習をしていました。

Q. 聖母の学びで力になったことはどんなことですか。

A. アクティブラーニングを通して、編入学試験の勉強に主体的に学ぶことができました。また、福島学などの実践的な学びは面接時に経験として語ることにつながりました。

Q. これから聖母短大に入学する、または編入を目指す後輩に伝えたいことは？

A. 編入学試験に活かせる授業や事業があり、そして手厚い支援を先生方がしてくれます。しかし、最終的にやるかやらないかは自分次第なので「絶対この大学に編入したい！」という強い意志をもってコツコツと学習に励んでください。

編入学合格者Q&A

(国) 宇都宮大学

国際学部 国際社会科学科

キャリア教養学科 (福島東高校出身)

Q. 編入を考えたのは、いつからですか。また、その理由を教えてください。

A. 4年制大学が不合格だったため、入学当初から考えていました。また、大学の授業やボランティアなどで国際的なことに興味を持ち、さらに深めたいと考えたためです。

Q. 編入対策で努力したことを具体的に教えてください。

A. 小論文です。2年次から顧問の先生に添削していただいた他、自分で新聞を読み国際面を重点的に勉強しました。

Q. 聖母の学びで力になったことはどんなことですか。

A. 幅広い専門科目を学習したため、その中で自分の興味関心は何か見つけられたことと、ボランティア活動やカナダ研修・沖縄研修など学外・県外様々な場所で学びを深められたことです。

Q. これから聖母短大に入学する、または編入を目指す後輩に伝えたいことは？

A. 先生方に頼るのが良いと思います。自分一人では解決できないことがたくさんあると思うので、一人で悩むのではなく相談してみてください。きっと親身になって聞いてくださると思います。



編入学合格者Q&A

(国) 宇都宮大学

国際学部 国際社会科学科

キャリア教養学科 (桜の聖母学院高校出身)

Q. 編入を考えたのは、いつからですか。また、その理由を教えてください。

A. 入学して学びを深めていくうちに、いつの間にか編入学を意識するようになりました。何よりも「学ぶ楽しさ」を聖母短大で知ったことが一番の理由です。

Q. 編入までのプロセスを具体的に教えてください。

A. もともと英語は好きだったので2年間で英語の授業は迷わず全て受講しました。2月の進路セミナーと、そのあと8月まで毎月1回開催された「鬼講座」に毎回休まずに参加し、それが大いに役立ちました。内容は主に小論文についてです。先生方にわかりやすく、そして時には厳しく指導をしていただいたおかげで、みるみる小論文を書くことが出来るようになりました。

Q. これから聖母短大に入学する、または編入を目指す後輩に伝えたいことは？

A. 私は第一志望で聖母短大に入学しました。きっかけは「自分の人生をデザインし、本当になりたい私を目指す」というキャッチフレーズに惹かれたからです。そしてそれは現実のものとなりました。ここで学んだことにより大いに成長でき学ぶ楽しさを知り、将来の夢を抱くことができ、そして道を拓くことができました。「なりたい私」を見つけることができました。皆さんも聖母短大できっとすてきな女性になれるはずです。必ず道は開けると信じて頑張ってください。

編入学合格者Q&A

(国) 新潟大学

農学部 農業生産科学科

食物栄養専攻 (橘高校出身)

Q. 編入を考えたのはいつからですか。またその理由を教えてください。

A. 入学前からです。高校時代から農学系学部に興味があり、食物栄養専攻からでも編入学は可能だと聞いたため、目指したいと考えました。

Q. 実際の学習指導は、いつから、誰にどのような形で指導されましたか。

A. 1年生の春休みから3年分の過去問を解き先生に添削していただきました。本格的に始まったのは夏休みからで、小論文、面接対策の個別指導をしていただきました。また、他学科の先生の“鬼講座”や編入英語講座など編入学希望者向けの講座も受講しました。

Q. 聖母の学びで力になったことはどんなことですか。

A. 座学だけではなく、実践的な活動が多かったことが自分の力になりました。共通科目の福島学や食物栄養専攻での商品開発、カフェテリア実習、食育活動などを通して、問題解決能力やコミュニケーションスキルを身につけることができました。このような活動を経験しておくことは、将来社会に出てからも必ず役立つと思います。

Q. これから聖母短大に入学する、または編入を目指す後輩に伝えたいことは？

A. 私のように、志望大学と短大での学びに多少違いがある場合でも、短大の学びを深めることは大切です。

編入学合格者Q&A

(公) 宮城大学

食産業学部 フードビジネス学科

食物栄養専攻 (橘高校出身)

Q. 先生のアドバイスで役に立ったことはどんなことですか。

A. 自分の話し方の特徴を教えてください、直すきっかけをいただきました。常に結論から話すことと、明るく自信をもって積極的に話すことを意識すると良いと言われました。これは小論文にも(結論から書く)役にたちました。

Q. 聖母の学びで力になったことはどんなことですか。

A. カフェテリアや調理実習などの実践的な学びは力になっていると思います。また、たくさんの商品開発に携われたことと、コンテストで入賞したことも力になりました。他にもプレゼンテーション力や基本的なビジネス能力も身につけることができました。

Q. 短大入学時・学生生活の気持ちを教えてください。

A. 初めは、編入の役に立つのだろうかと思いました。(この時期が辛かったです)が、だんだんやりがいと楽しみを見つけていけるようになりました。いろいろなことが活かせ、来てよかったと思いました。

Q. これから聖母短大に入学する、または編入を目指す後輩に伝えたいことは？

A. 最初は辛いこともあると思いますが、諦めずにコツコツと頑張ってください。聖母短大で過ごす時間は決して無駄ではありません。きっと合格できます。応援しています。